



事務所 ニュース

H18. No1

『年の初めにわが社の経営ビジョンを示そう』

新年にあたり、経営者が今年の経営方針や考えを社員に向けて明確に示すことは、何よりも大切と思われます。『**経営理念や経営目標、経営方針の明確化**』は、企業経営上非常に重要な事項です。特に経営方針は、経営者のトップ方針であり、会社をまとめて一定の方向へ導くために、企業の最高責任者自身が明確に示さなくてはなりません。全社員の行動のよりどころとなるものとして、例えば「今年はこちら」などと、必ず明確に打ち出す必要があります。経営方針が適切でなく、社員に対して明確に示されていないならば、経営目標の達成はおぼつかず、業績向上も不可能と言えるでしょう。ビジョンや方針は大げさなものではなく、今年はこちらぞ！という意気込みでも良いのです。

経営理念…経営理念は、経営者以外誰も口を挟むことができない、経営者自身が決めるべきことです。その際、次の事項に沿ってまとめると良いでしょう。

- ・何のために事業をするのか？
- ・どのような会社になりたいのか？
- ・社員にどのようなになってもらいたいのか？ など

経営方針…経営者が全社員の行動指針として示すもので、全社員の行動のよりどころとなります。したがって、経営者は各部門や各階層から情報収集しながら、全社の現状をよく踏まえて客観的に判断し、経営者の責任で決定しなければなりません。

経営目標…会社の目標として、主に次の3点を設定することになります。

- ・当期の目標売上高
- ・当期の目標粗利益率
- ・当期の目標適正利益額

会社の将来像、あるべき姿、進むべき方向を具体的に示すことが社員のやる気を高め、目標達成に向けて意欲を喚起させることにつながります。**先行き不透明で取り巻く環境が厳しい中、社員一丸とならなければ業績アップは望めません！**